

マーケットの動き（2025年2月25日～2月28日）

先週の国内リート市場は、前週末比で上昇しました。

米経済指標の悪化により米国長期金利が低下したことを受け、国内長期金利も低下したことなどから国内リートは上昇しましたが、週末に国内株式市場が下落すると国内リートも売られ、上昇幅を縮めて週を終えました。

セクター別では、オフィスセクターや住宅セクター、商業・物流等セクターが総じて上昇しました。

投資環境見通し（2025年2月）

国内リート市場は、底堅く推移すると予想

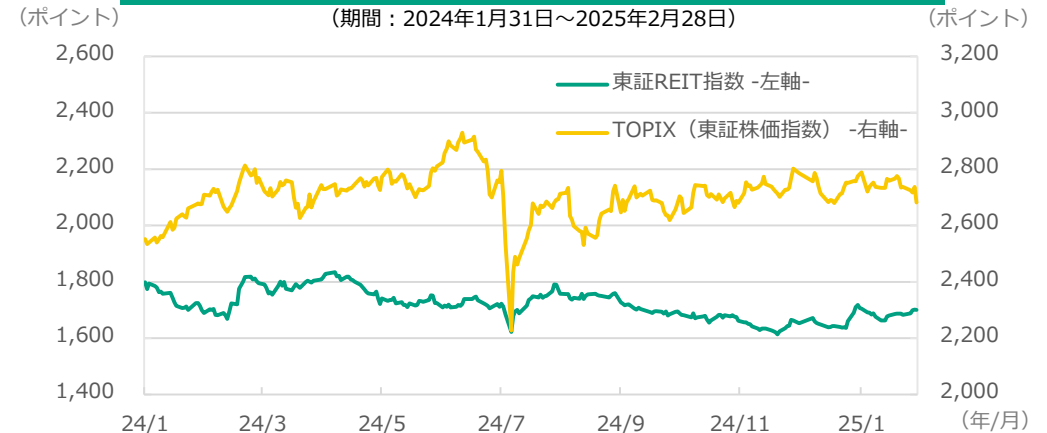
独立系資産運用会社が公開買付け実施を発表するなど、アクティビスト（物言う株主）が割安な国内リート市場に関心を示しています。既存の投資家からの要望に加え、新しい投資家層の参入により、各リー트의インフレ環境下での成長戦略の打ち出しや資本効率、投資口価格（株価に相当）向上への意識が高まっています。海外投資家の買いなど需給環境の改善につながることが期待されます。また、オフィス市況の回復が顕著になってきており、オフィスリートを中心に国内リート市場は底堅く推移すると予想します。

	2月28日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	1,700.49	1.08%	▲0.58%	▲4.97%	▲0.81%
＜ご参考＞ TOPIX（東証株価指数）	2,682.09	▲1.99%	▲2.71%	▲0.37%	0.27%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

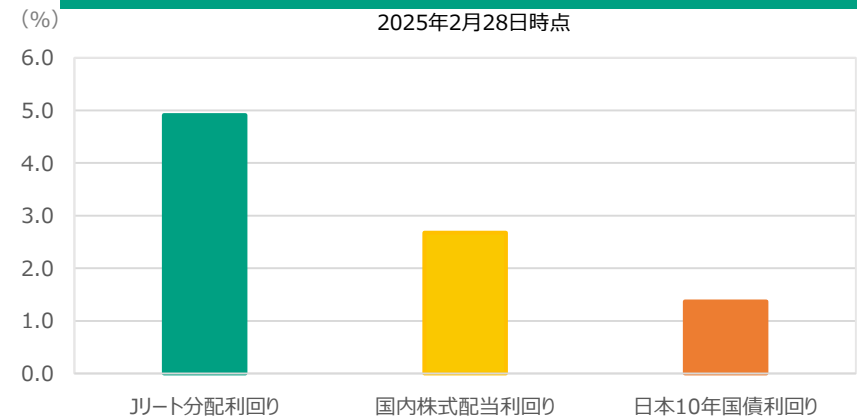
東証REIT指数、TOPIXの推移

（期間：2024年1月31日～2025年2月28日）



国内各種資産利回り

2025年2月28日時点



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>